

下図記事に触れて、最近取り組んだこと3点記述する。2025(令和5)年3月下旬に、私事でデジタル分野で挑戦したことである。

古希を過ぎてから時間が矢のように速く過ぎる。1週間も瞬く間に過ぎる。「ちよつと、おかしくないか」などと、自問しているほどだ。この調子だと、私の残りの人生も「あっ」という間に終わるだろう、などと思ってしまう。そのせいだろうか。最近、「昔の知人友人などに会いたいな」と思うことも増えてきた。

時間の長短の感じ方といえば、ジャネの法則というのがある。「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例する。年少者にはより長く、年長者には短く感じられる」という、19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャネが発案した法則である。

年を取るにつれて自分の人生における「1年」の比率が小さくなるため、体感として1年が短く、時間が速く過ぎると感じるのだという。例えば、5歳の人の1年の長さは人生の5分の1、50歳の人は50分の1に感じられる。両者で

気炎

ジャネの法則

は10倍違う。この体感時間を基準として計算すると、100歳の人の人生の折り返しは、20歳になるそう。

もちろん、法則への批判はある。「加齢と感じる長さの変化は反比例よりもゆるやかである」と述べた日本の心理学者もいる。

ところで、この感覚を遅らせるにはどうすればいいか。識者が言うには「夢や目標を持ち、新しいことに挑戦し続けること」だそう。毎日同じことを繰り返していると、夢や幻のように時間が過ぎていく。子供の頃のように、新しいことを体験できればいいのだが、それは無理というものだ。

そこで、これまでの仕事に関する新知識や技術を学んだり、子や孫を助けながら新しい息吹に触れたり、負担にならない程度に地域の役割を担いボランティア活動に参加したりするのはどうだろう。時の過ぎゆく速度を少しは抑える効果がありそうだが。(聴江 重)

2025年4月23日 山形新聞

- ①マイナンバーカードの Web 上での更新手続き
- ②購入 iPhone の Web 上での NTTdocomo 電話通信契約
- ③My - ホームページ開設

この3点共に、一つひとつの手続き工程を誤りのなきよう慎重に確認しながらの入力作業であった、そう簡単には問屋は降ろさない、一発的中ではいけない、失敗とやり直しを繰り返しながら試行錯誤を重ね、根気強く挑戦した、結果、総て上手くいった。特に③My-ホームページ開設については、普段使い慣れている Microsoft-word とは異なる私にとっては新しい概念であり、作ってはリセット、作っては初期化で、4月1日ようやく開設することが出来た。特別にジャネの法則を意識した訳ではないが、新しいことに挑戦したくなる姿勢は性分だから苦はない。

そして、「夢や希望を持ち、新しいことに挑戦し続けること」について次のことが浮かんだ。

- ✔ 1 特に還暦を過ぎたころを思い出した。この歳に相応しい「①探究心（物事の真相・本質を探りたいとする向上心）」が自噴（直感力・洞察力・思索力が内発）し、すると別の処で右往左往していた「②好奇心（未体験・未知の事物に対する強い関心欲）」が活動的になり、そしてその思いを実行・実現したいという「③冒険心」、すなわち「知行合一」の行動欲、いわば探究心と好奇心の統合に駆られる心の蠢きに従順になりたいと強く念ずるようになった。もう歳だから、などと弱音を吐く萎縮的な防衛本能は脇に追いやられるような境地になった。

- ✔ 2 過去の成功体験はくそくらえである。過去にどんな役職に就いたとか、表彰を授与されたとか、それはそれで十分な意義はあろう、自分の人生と取ってはとても光栄なこと、有意義なことであろう。そこで時間が経過した今日、より重要なことは、今何をしているのかである、それも社会貢献のありや否やである。今とは、今日1日、ここ1か月、長くってここ1年間に何をしたか、どんな成果を挙げたかが、その人の真価を問う物差しとなるのだと考えている。今、過去の成功体験時のような活躍をされていなかったら、他人の前で過去の成功体験を誇る資格はないということ。自分のための勉強は万民誰だってやっている、一般民衆の前で、みんなの前で過去の成功体験を語ろうとするならば、今、やっていることが無償ボランティア（博愛精神）に基づく社会貢献なのかと問いたい。私はこのことを強く意識している。ここ数年で「高・清フレンドリー古道」域の史跡等調査報告に係り何回か講演を行った中で、過去の四国へんろ他の徒歩遊学紀行を自慢げにしゃべって来たが、史跡調査が現在進行形だから少しは自慢を許して欲しいという下世話な思いからである。

- ✔ 3 人間には誕生時「向上心」、すなわち、①探究心・②好奇心・③冒険心」の3点セットがプレゼントされて生まれて来るものだと考えている。この言い換えが「夢や希望を持ち、新しいことに挑戦し続ける精神」であろう。これは、人間に等しく植え付けられた樹^たつる骨太なのだ。私は短い残余の人生は、この自分の心にただただ従順になるだけで行きたい、そして、逝きたい。

(end)